

井上 けんぎかい れきし かえ 県議会の歴史を変える

4年前の選挙では無所属議員が大勢当選し、埼玉県議会の歴史を大きく塗り替えました。「無所属県民会議」は14名でスタートしたことで第二会派となりました。無所属議員だけで結成した会派が第二会派となるのは70年ぶりの出来事でした。

そして他会派の協力も得て、私は令和元年度に議会運営委員会の副委員長に選任されました。これまでは数で勝る自民党・公明党が独占していましたが、自公以外の会派から議運副委員長が選出されたのは実に30年ぶり。しかも無所属議員で選出されたのは私が県政史上初ということになりました。

また議会改革の面でも大きく前進がありました。議会改革は全会派の一致がなければ実現しませんが、今期は「一般質問の一問一答式の導入」「ペーパーレス化の導入」「政務活動費のインターネッ

ト公開」「議員の産休・育休規定の創設」など、前任期から実現を呼び掛けてきた項目が実現し、まさに持続続けてきた種が実を結んだ4年間でした。

議運委員長に
齊藤邦邦氏選出
県議会は24日、改選後の臨時議を開き、議会運営委員会の委員長に齊藤邦邦氏(自民)を選出した。副委員長は投票が行われ、杉島理一郎氏(自民)と井上航氏(無所属)が選ばれた。副委員長選挙では、17票のうち杉島氏と井上氏がそれぞれ6票を獲得し、権守幸男氏(公明)は5票だった。議運の副委員長を自民と公明以外の会派が務めるのは、1987年5月〜88年8月の日本社会党・護国共同以来、30年以上ぶりとなる。



「しかし、まだまだ改善点は沢山あります。特に「常任・特別委員会のインターネット中継導入」「全ての委員会審査のHP掲載」「県議会だよりの紙面改革」など“議会の見える化”の取組はまだ道半ばです。これからも「しがらみのない無所属こそが改革の旗手になる!」という決意で改革を訴え続けます。」

井上 ちいき い 地域に生きる

父親が転勤族だったため全国様々な地で暮らしました。その私が社会人になった時に「このまちで暮らしたい」と思ったのが和光市です。人生の半分以上を和光市で過ごし、今、和光で子育てをしています。

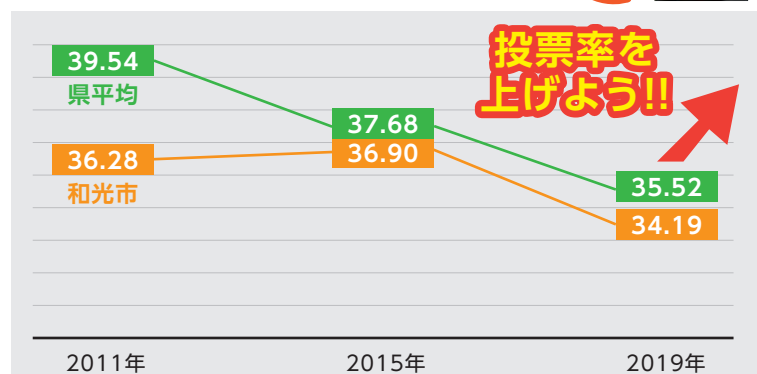
そして地域の若手として自治会役員も務めています。また自治会を代表して小・中学校の学校運営協議会にも参加しております。保護者として、地域の一員として、地元密着の政治家として、これからも子供たちの成長を見守ってまいります。



写真は毎年恒例の「年末パトロール」の様子です

井上 よ 呼びかける

人口減少が叫ばれる中、私たちが持つ“一票の価値”は益々重要になります。しかし、4年前の和光市における統一地方選挙では、投票率は30%台(県議選=34.19%、市議選38.17%)という状況です。



これは和光市だけでも何千、何万という票が棄てられていることを意味しています。このような状況は変えなければなりません! 特に全県的に行われる県議選において投票率が向上することは「和光市民は県政に関心を持っている」と県に示すことにもなります。私たち1人ひとりが持つ「1票」には県を動かす大きな力があります! 私たちの力で和光を変えましょう!

井上わたるプロフィール

昭和54年10月1日生まれ。父親の転勤により東京、名古屋、広島、兵庫などで生活。平成7年阪神大震災に被災。当時の政府や自治体の対応に問題を感じ、「人の暮らし・命を守る政治家になる」と決意。妻と長女、長男の4人暮らし。子育てしながら議員活動を行う。

- 平成19年～23年:和光市議会議員を務める。この年の選挙で「本人」の旗を掲げて駅頭や自転車で活動。以来、和光市における「元祖・本人」の異名をとる。
- 平成22年～:地方自治に関わる議員や首長などを表彰する「マニフェスト大賞」において「優秀コミュニケーション賞」を受賞。「配るホームページ」が分かりやすい活動報告事例として評価される。
- 平成23年～:県議会議員1期目。無所属議員の同志と共に活動スタート。
- 平成27年～:県議会議員2期目。会派「無所属県民会議」を結成。政策調査会長を務める。
- 平成31年～:県議会議員3期目。現在に至る。

趣味 料理、落語 特技 卓球 討論資料

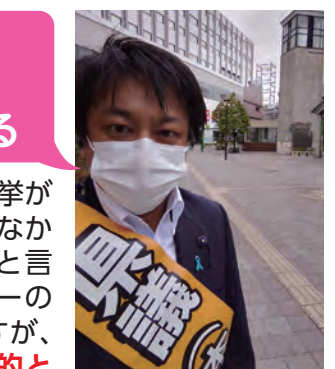
井上 けいかん まも 景観を守る

「2連ポスターは貼りません!」宣言

貼らない代わりにチラシを配る

現在、統一地方選挙が近いこともあり、街なかには「2連ポスター」と言われる政治ポスターの掲示が進んでいます。私は自身のPRを目的とした2連ポスターの貼り出しはしません! 理由はシンプルで街の景観を損ねると考えるからです。

私は代わりに1枚でも多くのチラシを配り、想いや政策を伝えるスタイルを買きます。



井上 2023年 埼玉県議会議員 県政報告

和光市の皆さまにお配りすること17年!
県議会議員としても12年目に突入です!

あなたは 241万1615 番目の読者です

無所属

ホームページ 第85号



井上 やくそく まも 約束を守る

4月の統一地方選挙が近づいてきました。私は初当選以来、任期満了を迎える際には必ず原点に戻り、選挙で語った公約や政策をどれだけ進めることができたか、お伝えするようにしています。これからも市民の皆さまとの約束を大切にしていきたいと思います。

やくそく 約束する

初心を忘れず 5つの行動規範

- ① 駅頭に立ち続けます
- ② 県政報告「配るホームページ」を発行し続けます
- ③ 政務活動費収支報告書 & 会計帳簿の全面公開
- ④ しがらみなし無所属を買きます
- ⑤ この選挙公報の達成状況を報告します

井上わたる 検索

今から4年前、2019年の県議選で私は3期目の当選を果たしました

私はその時の選挙公報に「主要政策」と「5つの行動規範」を掲げました

和光市の皆さまこんにちは
埼玉県議会 井上わたるです

和光市駅前

93名の埼玉県議会議員のうち無所属議員がどれくらい居ると思いますか?

「5つの行動規範」は全て達成しました

④「しがらみなし無所属を買きます」は大切な約束です

今後も特定の組織や政党からの支援を受けず活動を続けてまいります!

「主要政策」については特に重点的に取り組んだ「県南西部への児童相談所の新設」が実現しました!

その他の主要政策の進捗も公式ホームページで公開しています

なぜ和光市でそれが可能なのか?

それは市民の皆さまが「実績」と「政策」で議員を選んでくださるからです

こうした様々の課題を解決するためこれからの政策を語り、そして実現していきます!

教育 医療 農業 SDGs 福祉 介護 雇 基盤整備 経済 自然環境 防災 防犯 子育て 新型コロナ対策

このグラフのように、実は3名しかいないのです。大多数が政党所属議員なのです

無所属 13名 15%

共産党 6名 7%

民主フォーラム 8名 9%

公明党 9名 11%

自由民主党 50名 58%

そして1人区を勝ち上がった無所属議員となる私も含めて4名しかいません!

*2 民主フォーラムは、立憲民主党・国民民主党・埼玉県市民ネットワークに所属する議員によって構成された会派です

和光の新しい景色を創る



私はこの12年間で、「**県を動かし和光を変える**」という想いで県政に取り組んでまいりました。私自身が経験と実績を積み重ねる中で着実に前へと前進しています。そして私がその先に目指すのは **市民の皆さまと共に創る「和光の新しい景色」**です。
この言葉は、都市基盤整備の進展だけを指すものではありません。豊かな地域コミュニティや、暮らしの利便性、緑と湧き水に富む自然、そして高い教育水準のもと元気に遊ぶ子供たち。 **多様な市民が各々願うまちの理想がうまく共存する和光市をつくる!** それが私の目指す「和光の新しい景色」です。その実現のため引き続き県政発展に取り組んでまいります。

和光市 MAP



一手 **井上わたるの**
歩「既に一手!」
ここで紹介する政策の中には、私が既に県議会の一般質問や要望活動などを通して動き出しているものもあります。その政策には **歩** マークをつけてあります。

01 和光市の3つの玄関の魅力向上

今でも県内有数の高い交通利便性を誇る和光市ですが、「北」「中央」「南」の3つのエリアで基盤整備や交通政策に取り組むことで、さらに市民の利便性や地域の魅力を向上させます

1-1 北 和光北インター周辺

- 県の新河岸川水循環センター(下水処理場)の“エネルギー拠点化”を目指し、下水汚泥や廃熱を有効利用する「汚泥焼却炉発電」の導入を推進します。再生可能エネルギーの活用と温室効果ガス削減を同時に実現します
- 外環道の東名高速への早期接続を働きかけます



1-2 中央 和光市駅周辺

- 大野知事の目玉公約である「埼玉版スーパー・シティプロジェクト」に選ばれた和光市の「スマート交通システムの導入」「外環側道を走る自動運転サービス」等の導入を支援します
- 相鉄・東急直通線の直通運転を和光や埼玉の商業・観光推進に活かします

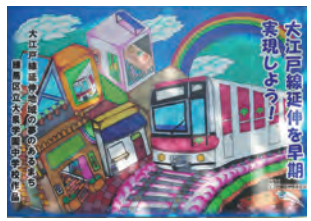


1-3 南 南地区

- 都営大江戸線延伸を推進し、南地区のさらなる発展を目指します

歩「既に一手!」

私は県議会の「地下鉄12号線(都営大江戸線)延伸促進議員連盟」の一員として取り組んでいます。昨年の予算特別委員会でも「大泉学園町までの優先整備区間実現に県の更なる協力」を提言しています



02 県営和光樹林公園

- 生物多様性を活かした樹木再生を進め、市民の憩いの緑を守る
- 県内で被害が進行する「ナラ枯れ」防止対策の推進
- 樹林公園を活用するNPOや市民団体の活動を応援
- インクルーシブ遊具の設置



歩「既に一手!」 予算要望で提案中。現時点では「既存施設の利用状況やニーズ等を考慮しながら研究を進める」との回答

03 和光・和光南特別支援学校

- 全体的に進められている高校内分校の設置及び増築を推進し、両校の過密対策を進める
- 卒業生の就労支援を推進



大野知事とは定期的に意見交換を行い、共に「**日本一暮らしやすい埼玉**」「**誰一人取り残さない安心・安全で住み続けたい埼玉県**」の実現を目指しています。

04 和光市駅北側 交通対策

- 駅北口交差点改良による渋滞解消
- 歩「既に一手!」**
県土事務所と市建設部に継続して要請中。現時点では「北口の区画整理の進捗状況等を勘案して検討する」との回答



● 新倉ロータリーへの信号機設置
歩「既に一手!」
県警に継続して要請中。現時点では「道路拡幅等の進捗を踏まえて協議中」との回答

05 254バイパス&和光バイパスの整備

県はこの2つの道路を重要施策である「ミッシングリンクの解消による道路網の多重化事業」「直轄国道と連携した骨太の道づくり事業」の双方に指定しています。私も整備推進を求める共に、地域の方々が最も心配する地域分断に対しても市や県にしっかりと対策を求めます

06 新河岸川

洪水対策のため築堤工事の早期完成を推進

歩「既に一手!」

予算要望で提案中。一般質問でも取り上げています



07 越戸川・白子川

- 越戸川における「NEXT川の再生事業」を支援します
- 白子川に湧き水が流れ注ぐ県道・河川整備を提言します



08 湧き水

「令和の名水百選」にも相応しいと考える和光市内の湧き水の保全・活用を進めます



09 上水道

安全で美味しい水を届けるため、和光市浄水場に水を提供する県営大久保浄水場の「高度浄水処理施設」の整備を進めます

10 米軍基地問題

市民の安心やまちづくりの将来性といった観点からも、返還に向けた県の取組を引き続き促していきます

歩「既に一手!」

一般質問でも提言しました。



14 より良い住環境

- 「落書き行為防止条例」の制定も視野に入れて、落書きのないまちを目指します
 - 和光上空を飛ぶ羽田空港新航路の固定化を回避するため、引き続き県を通して国に地元の声を伝えてまいります
- 歩「既に一手!」**
昨年の一般質問でも提言しました

15 公教育の充実

- 和光新校(仮称)が最適な学習環境で開校するよう支援します
- 県立中高一貫校の新設など「選ばれる公教育」を実現します
- いじめ、ヤングケアラーなどの相談体制に力を入れると共に、不登校児童の多様な教育機会確保に取り組みます
- 市内小・中学校における課題には県教育事務所と共に解決に臨みます

16 児童虐待対策

朝霞児童相談所(仮称)の令和7年度の設立に向けて整備促進します



12 住宅政策

- 子育て世代が望む住宅ストックを増やせる住宅政策を推進します
- 分譲マンションの高齢化=「老いるマンション問題」に取り組みます

13 災害対策

- 共助の要である自治会の多様な防災の取組を県の支援制度の対象に出来るように制度改正を目指します
- 東武・東京メトロ両線の乗り入れ駅であることも踏まえて、「和光市までの帰宅困難者対策」と共に「和光市からの川越方面への帰宅困難者対策」の双方に取り組みます

歩「既に一手!」

5か年計画策定の際、県が計画から外した「帰宅困難者対策」を議会発議で議案修正し、県の施策に復活させました

17 県道・信号機・交通標記等の改善

これまで同様、市民の声を県に伝えて改善に繋げる「架け橋プロジェクト」を推進します



歩「既に一手!」

市役所とは柴崎市長だけでなく、各部署の部長や現場の職員の方まで幅広く意見交換・連携をしています。**市議会議員の経験が今でも生きています。**

